

平成25年度予算決定!

住み続けたい町・誇りを持てる町を目指して

**一般会計は
総額33億9,000万円**
24年度からの繰越事業を含めると41億円規模

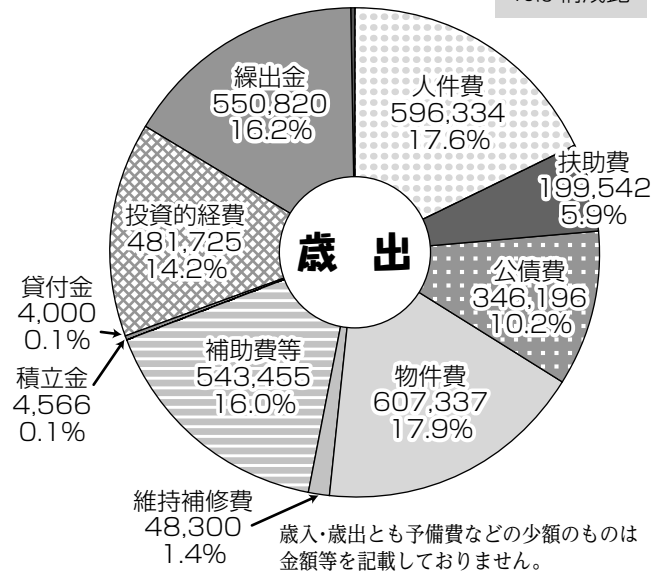
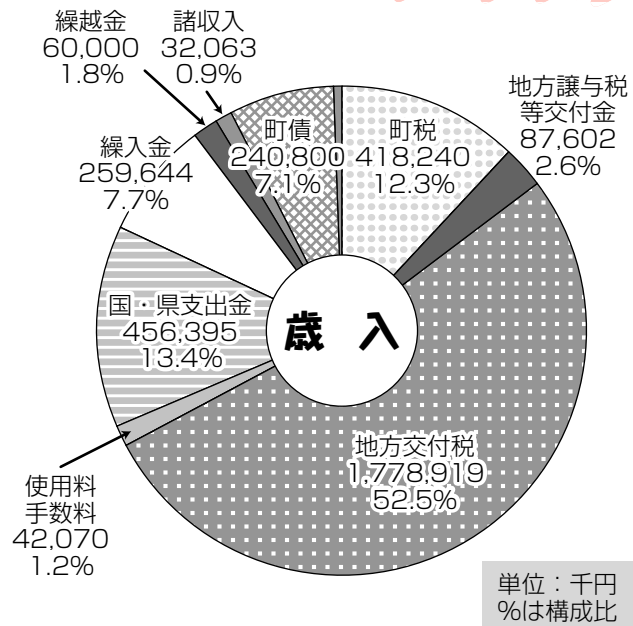
「日々の生活の中で実感できるあたたかさを」
一般会計は5年連続の増!

平成25年度の町の予算が、町議会3月定例会で議決されました。「住み続けたい町・誇りを持てる町」の実現のため、町民のみなさんのニーズを出来る限り反映いたしました。

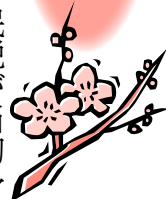
4本柱の重点分野に加え、教育予算の充実、第38回全国育樹祭の準備事業、全町美化運動提唱50周年記念事業を展開。

また24年度に国が実施した追加補正予算事業を始めとする、大規模な公共事業が来年度へ繰越して実施される、ということが25年度の特徴です。来年度へ繰越す事業費を合わせると、当初で41億円ほどの予算規模となります。

特別会計は、6会計7事業、予算総額は15億7千369万円となりこちらも増加しました。



歳入



町税は、個人町民税が当初予算での比較では増額が見込まれることや、たばこ税が県と町の税率が改正となり、同じく増額が見込まれることから、全体でも1.1%の増加と見込んでいます。

歳入の半分以上を占める地方交付税は、近年の交付ベースから特別交付税を増額計上し、約17億7900万円となりました。

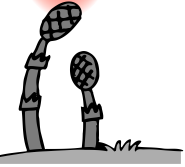
国庫支出金は、24年度に実施した地上デジタル難視地区対策

などが減額となりますが、国の追加補正予算事業の地方負担を軽減するために交付される、いわゆる元氣臨時交付金の増や公営住宅整備事業分での増額などにより、ほぼ前年度並みとなっています。

県支出金は、前年度に比べ31.4%の減少となりました。これはホットハウス神室の木質チップポイラー導入分1億5,000万円が皆減となったことが要因です。

繰入金については、神室温泉新源泉開発事業への基金繰入金が多額となっているため、170.9%の伸びとなっています。財政運営基金からは5千万円を繰入れる予定です。一方で、町債は、5千780万円が減額となったことから、総額で19.4%の減少となりました。

歳出



人件費は、職員数の減少や議員年金共済負担金の率の引下げ

により前年度より2.8%少なくなっています。

物件費は、全国育樹祭の開催準備経費や、全町美化運動提唱から50周年を迎えることを記念した町旗の全戸配布、緊急雇用対策委託料等の増額が大きく、7千295万円の増額となっています。

公債費は前年度より約400万円減少となりました。

投資的経費は、新源泉調査及び掘削事業や金山中学校体育館屋根塗装工事、要望が多かった道路整備などを増額しておりますが、前年度実施の木質バイオマスポイラーの導入や地上デジタル難視地区対策事業が終了したため、減少額が大きく、全体では約5,175万円の減少となります。

特別会計への繰出金は、ほぼ前年度並みとしておりますが、最上地区広域連合への負担金の増や診療所への運営費、施設整備補助金が増額となるため、3,338万円の増額となりました。広報かねやまでもお知らせし

ておりますが、診療所の経営は非常に厳しい状況であり、町の財政運営が極めて大きく左右されています。

町内でただひとつの入院施設です。更なる経営努力をしておりますので、どうぞ町民の皆さまによる「町立診療所」のご利用をお願い申し上げます。

これからの見通し

将来に繋がる堅実な運営を

「地方公共団体の健全化に関する法律」が20年度決算から適用され、健全化指標である「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」、「実質公債費比率」、「将来負担比率」について公表が義務付けられました。金山町では昨年の9月議会でも、いずれの比率も早期健全化基準内であり、年々町債の残高も減少していくことを報告しています。

予算全体のうち、毎年度変わらず要する経費が全体の何割を示す経常収支比率は今後も

4本柱と安全安心な暮らし、雇用・経済活性化対策の強化さらに、安全で安心な町づくり

一般会計予算は、「人材育成、健康づくり、産業振興、定住交流」を4本柱とし、雇用・経済対策に加え、安全で安心な金山暮らしを引き続き強化していきます。

90%以下で年々減少していく見込み(経常収支比率が低ければ、町が自由に使えるお金の割合が高いということ)です。

将来負担比率や町債の残高は、学校給食共同調理場を始めとする大規模事業の影響のため一時的に増加しますが、計画的な事業の実施により、その後緩やかな減少が続いていくものと見込んでいます。

また残高のうち約4割は地方交付税として還元されます。

24年度決算における実質公債費比率は12.3%と試算され、今年度よりも減少する見込みです。

このように財政健全化に向けて見通しを立てておりますが、地方交付税への依存度が高い金山町の財政は、国や県からの地方交付税や諸交付金等の補助的な収入に大きく左右されます。政権交代もあり、国の政策も変化してまいります。町民の皆さんへ届くあたたかき、きめ細かなサービスの提供に努めますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

25年度の主な事業



子育て支援

- ・出産祝金の贈呈 (第3子まで増額)
- ・妊婦健診助成 (14回分)
- ・第1子から入学祝金を贈呈
- ・第3子以降の保育料助成
- ・中学生まで医療費無料化助成 (拡充)
(7月から県内の医療機関に限り、窓口での支払いが不要になります。)
- ・不妊治療助成 (拡充)
- ・すくすくプレイランドの開催



雇用・商工

- ・プレミアム商品券への補助
- ・商工会金山支部への運営補助
- ・街の駅及び土産販売所の具現化
- ・緊急雇用 (拡充)
- ・新規開発事業補助金
- ・常用労働者等新規雇用奨励金 (交付条件一部緩和をさらに3年継続)
- ・工場誘致奨励金



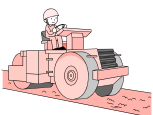
教育文化

- ・きらり金山地域活性化拠点づくり (ふるさと壁画制作等)
- ・小学校英語学習指導補助員の設置
- ・認定こども園運営支援
- ・特別教育支援員の設置 (拡充)
- ・スポーツ強化支援 (町民スポーツフェスティバルの開催)
- ・中田小学校閉校記念事業 (新規)



環境・防災

- ・全町美化運動提唱50周年記念事業 (新規) (町旗全戸配布、地区交付金増額等)
- ・リサイクル推進運動 (集団資源回収奨励金)
- ・コンポスター導入助成
- ・公害防止と不法投棄の適正処理
- ・家庭用薪ストーブ等設置助成
- ・自主防災組織設立支援 (拡充)
- ・ドクターヘリ保安誘導員の設置 (新規)
- ・空き家適正管理対策 (新規)



まちづくり

- ・町内ライブカメラ設置事業 (新規)
- ・携帯電話エリア等整備事業 (新規)
- ・神室温泉新源泉開発事業 (新規)
- ・町道改修と橋梁補修による安全確保 (拡充)
- ・町道除雪事業
- ・道水路維持管理活動支援
- ・地区公民館整備
- ・地区交付金等交付事業 (拡充)
- ・心の絆づくり事業 (おたがいさま運動)
- ・上水道テレメーター更新 (拡充)
- ・区長研修 (1年前倒しで実施)

★(新規)、(拡充)と記載があるものは、24年度当初予算と比べて新規・拡充の事業です。



人材育成

- ・家庭教育推進事業 (拡充)
- ・金山清い心の町創造事業 (かねやま未来会議の開催)
- ・理数科目対策：科学実験教室の開催
- ・「金山人」育成事業 (高校生学習振興事業費補助等)



健康づくり

- ・8020めざし隊 (歯周疾患予防、健診時フッ素無料塗布)
- ・個別受診のフッ素塗布無料券の交付
- ・健康倶楽部、お茶のみクラブ活動 (地区啓発)
- ・ヒートショック予防啓蒙 (拡充)
- ・高齢者インフルエンザ予防接種補助 (町外医療機関接種も対象)
- ・高齢者肺炎球菌ワクチン接種補助
- ・小児インフルエンザ予防接種助成 (1歳～中3まで対象)
- ・子宮頸がんワクチン (中学生対象)、Hibワクチン (2ヶ月～5歳未満)、小児肺炎球菌ワクチン接種助成 (2ヶ月～5歳未満)
- ・町立診療所ドック検診助成 (40～60歳男性対象)



産業振興

- ・認定農業者青年部活動活性化補助
- ・集団園芸栽培モデル事業助成
- ・伝統野菜特産化推進
- ・ほ場整備、農業用施設整備補助
- ・全国育樹祭イベント開催等事業 (新規)
- ・地産地消推進
- ・林道改修
- ・森林景観整備 (下刈・間伐)
- ・ナラ枯れ防除対策
- ・家畜飼料自給支援
- ・町内産稲わら確保事業補助



定住交流

- ・金山暮らし体験事業
- ・転入者の新改築のための借入金の利子分を補助 (50万円まで)
- ・金山まつり、観光協会への補助
- ・金山町住宅総合支援 (拡充) (金山杉活用住宅奨励補助・リフォーム補助)
- ・街並み景観づくり100年運動
- ・街なか戸建て住宅の建築
- ・景観づくり海外研修事業
- ・観光交流PR事業 (拡充)

【24年度から繰越して実施する事業】

- ・学校給食共同調理場改築事業
- ・魚清水橋橋梁補修事業
- ・町道飛森山線流雪溝整備事業
- ・凍上災道路災害復旧工事 等

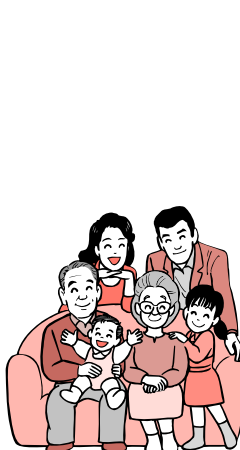
金山ふるさと寄附充当事業 多くのご支援を形に



平成24年も金山出身の方をはじめ、たくさんの方の町外の方から温かなご支援をいただきました。十日町出身で東京都に在住の加藤 棋一さんご夫妻からの3,000万円を含め、昨年中の受領額合計は3,902万2千円(577件)でした。基金に積み立てたうえで、寄附者のご希望に合わせて25年度、次のとおり事

特別会計総額は
15億7,369万円

- 業へ活用させていただきます。
- 「人材育成事業」 (40万円)
- 青年団体等団体育成事業 (56万3千円)
- 家庭教育推進事業 (20万円)
- 成人式実施事業 (20万円)
- 「健康づくり」 (217万1千円)
- 健康づくり推進事業 (217万1千円)
- 「産業振興」 (120万円)
- 産業まつり開催事業 (120万円)
- 「定住交流」 (47万8千円)
- 金山暮らし体験住宅 (47万8千円)
- 「教育文化」 (115万6千円)
- 小、中学校図書整備事業 (115万6千円)
- 「その他」 (395万4千円)
- 全町美化運動提唱50周年記念町旗全戸配布 (395万4千円)



特別会計(6会計と水道事業の収益的収支分)全体では296万円の増額となりました。国保事業勘定は、最上広域連合負担金の増額により、前年比24%の増となりました。国保直診勘定(診療所分)は、前年度実施の医療機械の整備分が減少したため、3.1%の減となりました。後期高齢者医療、農業集落排水事業は、ほぼ前年並みの総額、介護保険事業は居宅介護サービス等の医療給付費の伸びにより、前年比2.6%の増となりました。下水道事業は起債償還の平準化を図るための資本費平準化債の元金償還金の増などにより3%の増となっています。水道事業はテレメーターの更新事業費により、前年より大幅な伸びとなっています。

平成25年度 会計別予算総括表

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	
			予算額	増減率(%)
一般会計	3,390,000	3,360,000	30,000	0.9
特別会計	(458,323)	(87,273)	(371,050)	(425.2)
国民健康保険特別会計	78,850	63,600	15,250	24.0
後期高齢者医療特別会計	426,620	440,440	△13,820	△3.1
介護保険特別会計	60,850	62,280	△1,430	△2.3
農業集落排水事業特別会計	650,590	633,830	16,760	2.6
公共下水道事業特別会計	54,430	54,910	△480	△0.9
水道事業会計	131,700	127,810	3,890	3.0
国民健康保険特別会計	(458,323)	(87,273)	(371,050)	(425.2)
後期高齢者医療特別会計	170,650	187,860	△17,210	△9.2
介護保険特別会計	(458,323)	(87,273)	(371,050)	(425.2)
農業集落排水事業特別会計	4,963,690	4,930,730	32,960	0.7
公共下水道事業特別会計	(458,323)	(87,273)	(371,050)	(425.2)
水道事業会計	4,963,690	4,930,730	32,960	0.7

・水道事業会計の()内は資本的支出